

事業の概況

■企業のIT投資需要は底堅く推移

当連結会計年度(2023年1月1日~2023年12月31日)におけるわが国経済は、資源価格の高騰や物価高に加え、世界的な金融引き締めが国内経済に与える影響など不透明感はありましたが、経済活動が正常化に向かう中、企業の業況判断も改善するなど景気は緩やかな持ち直しが続きました。

このような経済状況にあってIT投資分野では、企業のソフトウェア投資計画も高い水準にあり、生産性向上、競争力強化やコスト削減を目的としたデジタル化への対応などIT投資需要は底堅く推移しました。

■お客様接点の強化に努める

以上のような環境において当社グループは、「お客様に寄り添い、まるごとDXで共に成長する」を2023年度のスローガンに掲げお客様接点の強化に努め、営業活動においては当社グループの強みを活かせる訪問による商談が活発化いたしました。具体的には、労働基準法の改正、改正電子帳簿保存法やインボイス制度への対応などワークフローの見直しやセキュリティ対策、DX統合パッケージとクラウドサービスを組み合わせた業務のデジタル化や効率化へ向けた提案を行いました。また、当社自身がAIによる業務プロセス改革など生産性向上を実現してきた事例を踏まえながら、中堅・中小企業のお客様でも手軽にAIの価値を享受できるサービスも含め、DX推進への取り組みを支援いたしました。

経済活動は正常化
景気は緩やかな持ち直しが継続

訪問による商談が活発化
業務のデジタル化、効率化提案

■売上高及び各利益は過去最高を更新

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、堅調な企業のIT投資需要を捉えることで一企業当たりの売上高の増加もあり9,773億70百万円(前年同期比13.5%増)となりました。利益につきましては、人件費等を中心に販売費及び一般管理費は増加したものの増収に伴う売上総利益の増加により、営業利益629億59百万円(前年同期比15.0%増)、経常利益645億17百万円(前年同期比13.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益474億48百万円(前年同期比18.6%増)と増収増益となりました。売上高及び各利益は過去最高となり、親会社株主に帰属する当期純利益については、賃上げ促進税制の適用等もあり高い伸びとなりました。

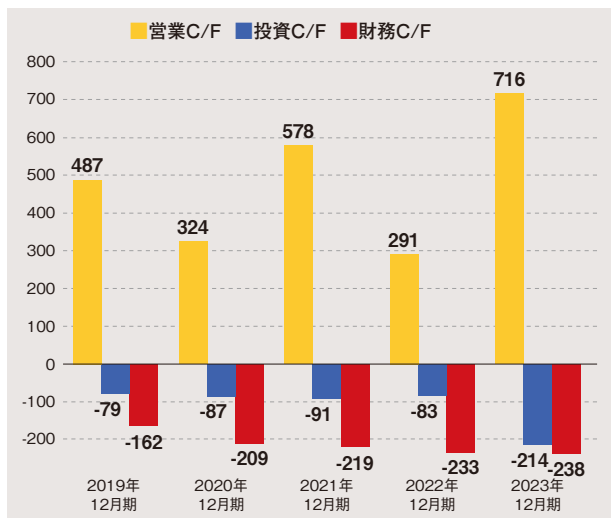
(単位：百万円)

	2022年12月期	2023年12月期	
	金額	金額	増減率
売上高	861,022	977,370	+13.5%
営業利益	54,768	62,959	+15.0%
経常利益	56,639	64,517	+13.9%
純利益*	40,022	47,448	+18.6%

※親会社株主に帰属する当期純利益

■キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)



営業活動から得られた資金は「売上債権の増加額」が小さくなったことなどにより、前年同期に比べ424億53百万円増加し、716億49百万円となりました。

投資活動に使用した資金は「定期預金の預入支出」が増加したことなどにより、前年同期に比べ131億17百万円増加し、214億73百万円となりました。

財務活動に使用した資金は「配当金の支払額」が増加したことなどにより、前年同期に比べ5億31百万円増加し、238億39百万円となりました。

四半期別の概況

■売上高の推移

売上高は、全ての四半期で増収となりました。

第3四半期(7~9月)売上高は、2,190億1百万円(前年同期比11.2%増)、第4四半期(10~12月)売上高は、2,373億12百万円(前年同期比8.4%増)となりました。

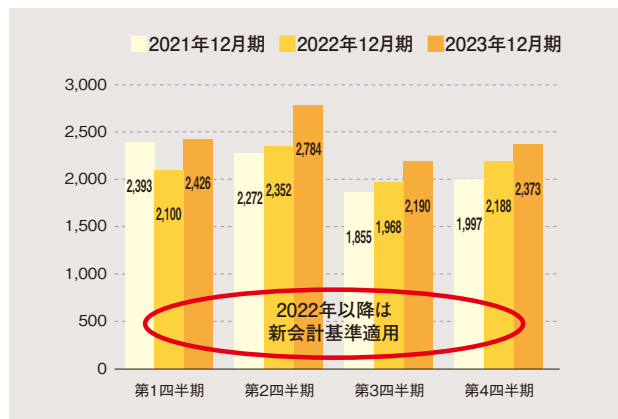
■経常利益の推移

経常利益も、全ての四半期で増益となりました。

第3四半期(7~9月)経常利益は、112億22百万円(前年同期比14.6%増)、第4四半期(10~12月)経常利益は、156億71百万円(前年同期比3.8%増)となりました。

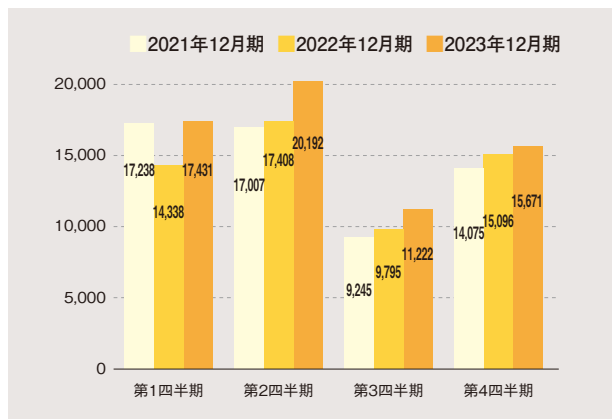
売上高の四半期推移

(単位:億円)



経常利益の四半期推移

(単位:百万円)



事業セグメント別の概況

■システムインテグレーション事業

コンサルティングからシステム設計・開発、搬入設置工事、ネットワーク構築まで最適なシステムを提供するシステムインテグレーション事業では、パソコンの増加によるハードウェアの伸びに加え、「SMILEシリーズ※」などパッケージソフトや受託ソフト等も順調に推移し、売上高は6,301億85百万円(前年同期比16.3%増)となりました。

■サービス&サポート事業

サプライ供給、ハード&ソフト保守、テレホンサポート、アウトソーシングサービス等により導入システムや企業活動をトータルにサポートするサービス&サポート事業では、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」やサポート事業「たよれーる」などストックビジネスに引き続き注力し、売上高は3,471億85百万円(前年同期比8.7%増)となりました。

※ SMILEシリーズ=当社グループオリジナルの統合型基幹業務システム。

事業セグメント別の売上高推移

(単位:百万円)

